

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23年 11月 4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200218
法人名	株式会社 ケアサポート霧島
事業所名	グループホームきりっま
所在地	鹿児島県霧島市霧島大窪63-2 (電話) 64-8095
自己評価作成日	平成23年7月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	県ホームページより
-------------	-----------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会
所在地	鹿児島県鹿児島市城山一丁目16番地7号
訪問調査日	平成23年8月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入所者様とその家族様に対して同じ家族のように職員は接していることで常に状況報告ができています。生活してドライブの時に買い物など一緒に行く事で楽しみをもって生活していただいている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

山・川・田・畑と自然に囲まれた霧島の麓にあり、季節の変化を五感で感じ取ることができるような環境に恵まれた場所である。広いホールやテレビを見る部屋もあり、開放感の感じられる造りで、入居者は、一人ひとり思い思いにゆっくりとした時間を過ごしている。職員は、入居者の思いを尊重したケアに取り組み、ケア検討や業務改善検討など皆で意見を出し合い、改善に向けた取り組みを積極的にやっている。管理者や職員は、何でも言い合える関係が出来ており、和気あいあいとした雰囲気伝わってくる。災害時避難については、過去の体験より日頃から地域との連携つながりが大切であることを学び、地域との交流がさらに広がりつつある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関・正面入口に理念を掲げ、又、毎月の全体会議の前に皆で復唱し、その理念に基づき、実践に向けて日々取り組んでいる。	開設時に、全職員で作成した理念である。施設理念と介護理念の2つの中に、地域とのつながりや入居者一人ひとりを見つめ、家族とのつながりも大切にすることが盛り込まれている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	常日頃、地域の方々との接触を持ちながらあいさつを交わしたり、散歩の時などの声かけをしている。	高齢化、過疎化が進む地域で自治会としての活動も少ない中、六月灯や敬老会への参加・交流を行っている。また、日常の散歩時には、挨拶を交わし、野菜・果物等も頂いたりしている。飼育された動物と触れ合うこともある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	あまり生かしていないように思う。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の会議で各関係機関の方々と意見交換を行い、サービス向上に努めている。	民生委員・消防団・行政・家族代表の参加を得て、2ヶ月毎にテーマを決めて実施している。昨年度は、集中豪雨時の避難について反省意見を出してもらっている。会議への出席を近所の方や学校へも声掛けしているが参加に至っていない。	会議の具体的な記録を残し、全職員が共有・意見交換されることを期待します。地域の方の参加が得られるよう、引き続き努力されることを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	必要な時は相談に行ったり、又、できる環境である。	運営推進会議に出席された時に、担当者へ相談をしたりしている。権利擁護に関する勉強会について相談したところ、社会福祉協議会による学習会を行うことができています。	行政が行っている福祉行事等への参加や情報の共有が図れることを望みます。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を立ち上げスタッフ全員と問題提起し、話し合いの場を設けている。	毎月の職員会議で各ユニット毎に事例をもとに勉強会を行い、半年毎に行われている法人の身体拘束委員会で報告も行っている。職員同士気付いた時に、お互い注意できる関係が出来ている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	勉強会などで虐待防止法について話し合いを設けている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	権利擁護に関する資料を集め、勉強会などで活用し、支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者とケアマネージャーと主任で説明を行っている。苦情があった場合早急に役所と連携をとっている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設けており、面会時など、いつでも気軽に言える環境作りをしている。</p>	<p>毎月のホーム便りに担当職員が入居者の状況を記入し、家族へ送付している。家族から「様子が分かり安心です」との声もある。家族より車椅子対応の自動車の希望があり、購入している。家族会を年1回開催し、意見をもらう機会としている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会各棟のミーティングなどで意見・提案を聞き、朝礼で各棟の情報共有している。</p>	<p>月初めにユニット毎のミーティングや月末には全体ミーティングを行い、職員の意見・提案を聴く機会としている。業務改善の検討や介護の方法など検討を行い、情報の共有に努めている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>上司と個々に面談を設け、働きやすい職場環境を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修やスキルアップの為に職員が資格取得の為に協力している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流する機会を持ち、又、研修会などにも参加し、お互いの利点などを生かしサービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に面会をし本人の思いに耳を傾けながら、少しでも不安を取り除けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の今までの思いに十分に耳を傾け、今後家族等との信頼関係が築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様を第1に考え、必要なサービス利用も含めた対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	昔の知恵や知識などを本人から学んでおり、本人にとって無理のない生活を送ってもらうよう常に利用者に向けたケアを目指している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時など近況を報告するとともに、本人様を大切に、又、家族の気持ちになった支えが出来るように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来られた人達にご本人の昔の話を聞いたりして情報を増やしている。	担当の職員を決めており、利用者の自宅やお墓の場所などを把握し、3ヶ月に1回は、訪問できるよう支援している。また、買い物帰りに立ち寄る等の支援も行っている。遠方の方でも家族と一緒に近所の友人を連れて来られている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者一人ひとりの個性を尊重しながら利用者同志の関わりが良くなるように会話や散歩など遊びの場でも話しやすい環境づくりに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	共に生活する上で家族のような関係作りに心がけ、スタッフ利用者共にいつでも		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入所時の資料や日常の会話などから本人の意向の把握に努めている。	その日その日をどう過ごしたいかを本人に伺い、本人の意向をもとに行動出来るよう心掛けている。リハビリや作業等の時間は設けていないが、希望があれば、一緒に行ったり見守りを行っている。意向を訴えられない方については、提案を行い一緒に行動するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前の聞き取りや資料をもとに、これまでの経過などの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人様の出来る所はして頂き、1日の過ごし方、その日の状態など個人台帳に記録し職員全員で現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人主体の達成可能な目標を本人・家族などの意見をもとに作成している。	モニタリング表を作成し、毎日項目毎に、その日の担当職員で記入を行っている。また、3ヶ月毎にモニタリング表と介護記録を基に評価を行い、計画見直しをする際は、全職員で検討をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきなど職員間で情報を共有し、見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	状況に応じ通院介助など柔軟な支援やサービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議などで、話し合い安全面なども相談し、暮らしを楽しむことができる様に支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望を大切にかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入所時に、本人・家族より希望のかかりつけ医を伺って対応している。週1回の往診と24時間体制で気軽に相談できる協力医との連携が図られ、本人・家族の安心にもつながっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づき、情報を常にドクターと連絡・連携をとってその都度指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院関係者との情報交換に努め、面会に行って声掛けし安心して治療できるように努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時より関係者と共にチームでの話し合いを持ち、できること、出来ないことを見極めながら状態の変化時やターミナルケア等の準備を行っている。</p>	<p>家族の意向を尊重した対応を行っている。また、家族や本人の意向を全職員が共有できるようにしている。終末期ケアについて、出来る事出来ない事等勉強会を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>勉強会などで基本的なことは勉強できているが、まだまだ実践には勉強不足のように思う。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練を定期的に行っている。全職員が身につけている。いざとなると（夜間など）不安なことが多い。</p>	<p>年2回、消防署立ち合いの避難訓練を実施し、地元消防団や地域の方の協力体制も築いている。ウッドデッキからの避難が出来るようスロープを造設する予定である。</p>	<p>地震対策や出火場所のあらゆる想定での自主訓練を繰り返し行うことが大切であると思われます。飲料水や食品等の備蓄を希望します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの価値観・考え方を考慮してプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの自尊心を傷つけないような声掛けや対応を心掛けている。職員同士気が付いた時は、お互いに注意し合い職員会議では、事例検討を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の目線に立ち、思いを言えるような雰囲気づくりをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の意思を尊重し、希望にそった支援をできるように努力している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	朝・服選びを一緒にし、その季節に応じた格好で過ごされるよう支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	何を食べたいか、お聞きし取り入れている。又、配膳や下膳など手伝って下さっている。	献立は食材を見て、その日の担当者が作成・調理している。検査簿に、毎日記入し献立が重ならないようにしている。入居者に食べたいものを聞き、献立に組み入れている。基本の時間はあがるが、利用者に合わせて、温め直して提供することもある。テーブル拭きや野菜の下ごしらえ、後片づけ等出来る方は、一緒に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食べる量や水分量など毎日一人ひとり記録に残している。それぞれの病気にあった料理方法や量を工夫している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>自分でされる方は声掛けにてされている。又、介助が必要な方に対しても口腔ケアは行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>声掛けにてトイレ誘導を行っている。おむつの方に関しては、毎回ホットタオルで清拭を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握し、介護計画の中に記入されている。全職員が対応出来るように努力している。尿意の訴えない方は、表情やしぐさ等を見て、さりげなく声掛け誘導を行っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎朝、牛乳や冷たい水などで便秘予防に取り組んでいる。バイタルチェック、排便チェックをかかさず行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>一人ひとりの希望やタイミングには合わせていないが一人ずつの入浴支援をしている。温度の違いなどそれぞれ個性があるのでそれを理解し、本人の声を聞きながら行っている。</p>	<p>ユニット毎で曜日は異なるが、隔日に入浴出来るよう声掛けしている。ご本人の希望に添った入浴支援をしている。親しい方は、2人で入られることもある。浴槽が深く、個浴としては広すぎることもあり、改装を申請している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>いつでも休息していただいて安心して気持ちよく眠れるように布団も干している。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>服薬表に目を通して、薬の働きや症状の変化の確認に務めている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>出来る範囲内の手伝いなどを通して張り合いをもっていただけるよう支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天候などによって外出、散歩等できるように又、ドライブ等で遠出をしたりしているが家族や地域の人々と一緒にはない。</p>	<p>車椅子の方も一緒に近くの神社へお参りに行ったり、夏はホームの庭で夕涼みを行うなど支援している。近所で飼っている動物（犬・猫・牛など）との触れ合うこともあり、入居者の表情がとても穏やかなものに変わることを実感出来ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を所持したり使えるように支援しているのは一部の入所者である。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば電話をかけて話をしてもらおう等の支援はしている。頂いた手紙は居室に貼り、いつでも見ることができ、つながりが無くならないよう心掛けている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>浴室やトイレ等では、プライベートが守られ、花を飾ったりして居心地よく過ごせるような工夫はしている。行事の写真なども貼り、いつでも見れるようにしている。</p>	<p>各ユニットでテーブルの配置を変え、気分転換が図れる工夫をしている。テレビを見るスペースや横になれるように畳を置いたり各々がゆっくり過ごせるソファや椅子も配置されている。テーブルの上には季節の花が飾られ、壁には行事の際の写真を貼り出す等工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファに掛けてテーブルを囲んで利用者同士で話しをしたりできるような工夫をしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人が今まで使用していたものや写真などを飾って心地よく過ごせるようにしている。</p>	<p>居室の温度湿度の調節は、入室のたびに気を付けている。布団や枕、衣装ケース・鏡・ぬいぐるみ・家族の写真など個々に合わせて、馴染みのものを持って来てもらい、居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりなど使用し、安全確保を第一に自立した生活が送れるように工夫している。一人ひとりの希望や状態合った空間作りに努め、第三者目線から見た過ごしやすい空間づくりに努めている。</p>	/	/

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関・正面入口に理念を掲げ、又、毎月の全体会議の前に皆で復唱し、その理念に基づき、実践に向けて日々取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	常日頃、地域の方々との接触を持ちながらあいさつを交わしたり、散歩の時などの声かけをしている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	あまり生かしていないように思う。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回の会議で各関係機関の方々と意見交換を行い、サービス向上に努めている。		

5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>必要な時は相談に行ったり、又、できる環境である。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を立ち上げスタッフ全員と問題提起し、話し合いの場を設けている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>勉強会などで虐待防止法について話し合いを設けている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関する資料を集め、勉強会などで活用し、支援している。</p>		
		<p>○契約に関する説明と納得</p>			

9	<p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者とケアマネージャーと主任で説明を行っている。苦情があった場合早急に役所と連携をとっている。</p>		
10	<p>6</p> <p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>意見箱を設けており、面会時など、いつでも気軽に言える環境作りをしている。</p>		
11	<p>7</p> <p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会各棟のミーティングなどで意見・提案を聞き、朝礼で各棟の情報共有している。</p>		
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>上司と個々に面談を設け、働きやすい職場環境を作っている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修やスキルアップの為や職員の資格取得の為に協力している。</p>		

14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流する機会を持ち、又、研修会などにも参加し、お互いの利点などを生かしサービス向上に努めている。</p>		
<p>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所時に本人の思い等をじっくり聞くことで安心を確保できるように努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所時に本人と家族の思いをなるべくその意向に副うように努めている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要としている支援を行う。</p>		
	<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p>	<p>本人の出来ることは手伝って頂</p>		

18	職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	き、知恵や知識を教えてもらい、よい関係づくりに努めている。		
19	○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	きりっまだよりで、近況報告や面会時に現状報告を行い、快適に過ごせるように連携を密にする。		
20	8 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が愛用していた品物や写真を見の周りに置き、安心感や満足感を得てもらい、知人友人が気軽に遊びに来られるような環境作りに努めている。		
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが、一人ひとりを尊重し、孤立しないように支援に努めている。		
22	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設に移られた方の面会に行ったり、必要に応じて行事等などに参加して頂いている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
	○思いや意向の把握			

23	9	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン更新時などで本人の希望の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族に以前の様子を伺い、資料を頂いたり、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックや毎朝の申し送りなどで変化や現状の様子を把握している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリングを活用し、ドクターと担当者と話し合い、計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に記入されており、日々の様子や変化を職員間で把握し、必要に応じて見直しをしている。		
		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化			

28	<p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況に応じて、通院が必要な時など介助したり常に面会に行き、外出時には外食を楽しんでいる。</p>		
29	<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>行政・民生委員の方々と運営推進委員会で話し合い支援している。</p>		
30	<p>11</p> <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>主治医と伝達関係が築かれており、異状時にすぐに対応して頂いている。場合によっては、専門医との連携も取れている。</p>		
31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員がいないため、入所者の体調の異変時に常に医師との連携をとっており、適切な受診に繋げている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>職員は面会に行ったり、医療機関との情報交換や入院中の本人ならび家族の不安がないように努めている。</p>		
	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p>			

33	12	<p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族の意向を優先している。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>消防署の心肺蘇生やAED使用方法を学んだ事故発生対応マニュアルを身につけている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害対策・訓練を行い、地域との協力も築けている。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>常に丁寧な言葉かけを心がけプライバシーを確保するための設備を改善したするように配慮している。</p>		
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>食事の希望の衣類の好みを聞いたり、自分で判断して頂いている。</p>		
		<p>○日々のその人らしい暮らし</p>			

38	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	全員の要望を聞くのは困難ですが、なるべく希望に沿った支援に心がけている。		
39	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の意向を一番大事にしている。		
40	15 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	配膳・下膳又茶碗洗いなど本人にあった手伝いをしている。（食材の下処理やおしぼりたたみなど）		
41	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日の食事摂取量や水分量などを記録し、月一回の体重測定などを行っている。		
42	○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	できない方のみ食後の口腔ケアを行い、口腔内の清潔を保てるように努めている。		
43	16 ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中のオムツ使用を減らし、排泄パターン習慣を生かし、気持ちよく排泄できるよう支援している。		

44	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状況を把握し、食事の工夫や軽い運動など側面から支援している。		
45	17 ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温度の違いなど、それぞれ好みがあるのでそれを理解し、一人ひとりがゆっくり入浴を楽しめるよう配慮している。		
46	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	状況に応じ、安心して気持ちよく眠れるように布団を干したり、シーツ類をこまめに洗って清潔を維持している。		
47	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師からの服薬表を説明して頂き、理解している。		
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	レクリエーションなどを行い、利用者様によっては毎日役割を決め張り合いを持ってもらっている。		
	○日常的な外出支援			

49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	外の散歩などは自由に行ってもらっており行事を決めて普段行けないような所へ行く機会を設け支援している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人自身はお金を持っていない。買い物の時などほしいものを購入している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話を本人がかける事ができないため、必要な時は職員が電話をし、話をしてもらおう支援はしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	色々な飾り付けを共用の物にかざり、季節の花などもかざり、居心地よく過ごせる工夫をしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合った方と畳の間や奥の椅子でコーヒーを飲んだり居室で話ができるようにテーブルを持っていくなどの工夫をしている。		

54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた物を持ってきていただき、面会の時など写真を撮り居心地よく工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>安全にかつできる事はしていただき、自立した生活を送ってもらえるように工夫している。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
		○	1 ほぼ全ての職員が

66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1
		○	2
			3
			4
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1
			2
			3
			4
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1
			2
			3
			4
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1
			2
			3
			4
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1
		○	2
			3
			4
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1
			2
			3
			4
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1
		○	2
			3
			4

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1
		○	2
			3
			4
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1
		○	2
			3
			4
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1
		○	2
			3
			4
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1
			2
			3
			4
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1
		○	2
			3
			4
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1
		○	2
			3
			4

ほぼ全ての利用者の
利用者の2/3くらいの
利用者の1/3くらいの
ほとんど揃っていない
毎日ある
数日に1回程度ある
たまにある
ほとんどない
ほぼ全ての利用者が
利用者の2/3くらいが
利用者の1/3くらいが
ほとんどいない
ほぼ全ての利用者が
利用者の2/3くらいが
利用者の1/3くらいが
ほとんどいない
ほぼ全ての利用者が
利用者の2/3くらいが
利用者の1/3くらいが
ほとんどいない
ほぼ全ての利用者が
利用者の2/3くらいが
利用者の1/3くらいが
ほとんどいない
ほぼ全ての利用者が
利用者の2/3くらいが
利用者の1/3くらいが
ほとんどいない

ほぼ全ての家族と

家族の2/3くらいと

家族の1/3くらいと

ほとんどできていない

ほぼ毎日のように

数日に1回程度ある

たまに

ほとんどない

大いに増えている

少しずつ増えている

あまり増えていない

全くいない

ほぼ全ての職員が

職員の2/3くらいが

職員の1/3くらいが

ほとんどいない

ほぼ全ての利用者が

利用者の2/3くらいが

利用者の1/3くらいが

ほとんどいない

ほぼ全ての家族等が

家族等の2/3くらいが

家族等の1/3くらいが

ほとんどいない

